



大隈伯書付及
 閣下
 十月九日
 高橋達三
 貴意云々
 八は近況向方を得
 有聴此を以て之
 之より復々高橋
 快之至りとは余却
 遊戯、中より近日
 未だ余却、女に比
 于今、在昔辱死を
 形中より病をま
 中程帰船此二戸
 適在、大坂、此の筆
 了、其の心、思は清